

新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響： がん登録を基盤とした調査

1. 研究の対象

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等における院内がん登録された患者さん（2016 年 1 月 1 日診断以降）

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を、がん登録を基盤とした調査により示します。

2020 年 1 月 16 日、中国湖北省武漢市より帰国した男性に初の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染がわが国で確認されました。2020 年 3 月 11 日には、WHO が世界的大流行（パンデミック）を宣言し、感染者数、死者数とも増加、緊急事態宣言の発令など、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。がん医療においては、検診やかかりつけ医の受診、専門医療機関への紹介、検査、診断、治療において、遅延、中止、代替が生じたと想定され、医療提供体制の逼迫によるがん医療の制約も現実となりました。がんの進行、生存期間や QOL の悪化、がん死亡の増加が懸念されています。

今回、大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診療情報データの一種である DPC の情報を加えることで、COVID-19 がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を示します。COVID-19 のみならず、今後発生する新たな感染症に対して、がん医療提供体制のあり方を考えるうえでの科学的根拠になると考えています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

院内がん登録データと診療情報データの一種である DPC データを匿名化・暗号化したもの

4. 外部への試料・情報の提供

他施設への提供はありません。

5. 研究組織

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69、☎06-6945-1181

研究責任者・代表者：がん対策センター所長 宮代 勲

（大阪府がん診療連携協議会 がん登録・情報提供部会長）

実施医療機関及び責任者 (既存試料・情報の提供のみを行うため研究機関とはみなさない)
大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等
(https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/osaka_gan-portal/kyotenlist.html)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人
の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
がん対策センター 政策情報部副部長 森島敏隆
住所: 〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69
電話: 06-6945-1181

研究責任者・研究代表者:

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
がん対策センター所長 宮代 勲
(大阪府がん診療連携協議会 がん登録・情報提供部会長)

-----以上